

泌尿器科

■診療科長 賀本 敏行

■研修実施担当者 秋岡 貴弘



教育施設として認定を受けている学会

学会名：日本泌尿器科学会 資格名：日本泌尿器科学会認定 泌尿器科専門医

診療科の概要

当科では、腹腔鏡手術をはじめとし、泌尿器腫瘍、小児泌尿器科、排尿障害などを中心に最先端の医療を行っています。それぞれの専門分野のエキスパートの指導下に診療技術および専門的知識の習得を目指します。

当科はチーム医療の中にありながら「独立した」泌尿器科専門医の育成に重点を置いており、多数の関連病院と連携し、優れた泌尿器科医となるために最適かつ最高の環境および教育を提供することをモットーとしております。

研修症例の特徴

泌尿器科が扱う全領域についての基礎的な修練とともに、泌尿器科 common disease について、専門的に対応できる能力を養成します。

当科で治療する疾患は主に、泌尿器腫瘍（腎癌、尿路上皮癌、前立腺癌）、小児泌尿器科（停留精

巢、膀胱尿管逆流症、尿道下裂）、排尿障害（前立腺肥大症、神経因性膀胱）、女性泌尿器科（腹圧性尿失禁、間質性膀胱炎、膀胱脱）であり、それぞれの専門分野のエキスパートの指導下に診療技術および専門的知識の習得を目指します。

研修目標

【一般目標 (G10)】

泌尿器科の扱う疾患は多岐にわたり、内科的治療から外科的処置・治療まで幅広い適切な対応が求められる。本プログラムでは泌尿器科が扱う全領域についての基礎的な修練とともに、排尿障害、尿路感染症、尿路結石症、泌尿器腫瘍などの「泌

尿器科 common disease」について、外科的処置を含めて専門的に対応できる能力を養成する。

またさらに泌尿器科のサブスペシャリティーについて、それらを希望するものには経験する機会を与え、次のステップへの準備段階とする。

【個別行動目標 (SB0s)】

泌尿器科疾患の社会的関わりを理解し、その診療・福祉における問題についてのニーズに対応しうる能力を養う。また泌尿器科専門医として境界領域の疾患の処置についても正確に対応できる能力を養い、医の倫理に基づき患者及び家族との正しい人間関係を構築できる心豊かな医師を育てることを目標とする。

1) 泌尿器科領域の外来診療において以下の能力を養う。

- ①患者の心理を理解しながら適切な問診が取れる能力
- ②外来診療において必要な検査を選び出す能力
- ③問診、症状、所見による診断アルゴリズムを導き出す能力
- ④疾患の内容、重症度を把握し適切な専門的外来治療を行う能力
- ⑤救急疾患、外来診療に伴う偶発症に対応する能力
- ⑥コメディカルと協力して患者の社会復帰のための問題を解決する能力

2) 泌尿器科領域の入院診療において以下の能力を養う。

- ①基本的臨床能力を養い、全身、局所管理が適切に行える
- ②泌尿器科領域の基本的手術に関する意義、原理を理解する
- ③基本的手術手技の習得

- ④理論的に手術を含めた治療法の適応を決めることができる能力
- ⑤的確なインフォームドコンセントができる能力
- ⑥コメディカルとの良好な連携を築き、安全に医療を遂行できる能力

3) 必要十分な医療情報を収集してディスカッション/プレゼンテーションできる能力を養う。

研修方略

【指導医および指導体制】

研修医1人に指導医1人がつきマンツーマンで指導を行います。高度の医学的判断や専門的検査に関してはそれぞれの疾患のエキスパートが指導を行います。

大学病院の特殊性から泌尿器科領域の多岐に

渡る疾患をすべて経験することは困難であるため、希望者には研修期間中に関連施設や、京都大学はじめ関係大学での研修も可能です。研修期間中は指定の学会に積極的に参加し、これらの学会において年1~2回の学会発表を行います。

【勉強会やカンファレンスなどの研修教育活動】

週1回以上の患者回診

週3回以上の症例検討会（病理カンファレンスを含む）

週1回以上の抄読会もしくはセミナー

年1回以上の日本泌尿器科学会提供の教育プログラムへの参加

年2回以上の泌尿器科関連学会（単位認定学術集会）参加

4年間で1編以上の臨床論文作成（症例報告を含む）

【週間スケジュール】

	午前	午後
月	手術症例/問題症例カンファレンス 外来研修（再診、尿失禁・神経因性膀胱外来）、 尿路造影検査など	外来研修（再診） 各種検査（前立腺生検、ウロダイナミクス検査など） 小児腎疾患カンファレンス（月1回）
火	抄読会 外来研修（新患、小児泌尿器科外来）	回診、手術症例/問題症例カンファレンス 病理カンファレンス（2週ごと） リサーチカンファレンス（月1回）
水	手術研修	手術研修
木	外来研修（新患）	外来研修（特殊外来）、病棟研修
金	手術症例/問題症例カンファレンス 手術研修、外来研修（再診）	手術研修、外来研修（再診）

なお曜日にかかわらず病棟研修を行う。関連施設での手術研修も行う（不定期）。

研修評価

- オンライン卒後臨床研修評価システム（EPOC）による研修実施内容の評価（観察記録）

指導医・先輩医師からのメッセージ

宮崎県出身で他大学を卒業し、宮崎大学医学部附属病院で初期研修終了後、入局しました。医局はアットホームで和気あいあいと楽しい雰囲気、温かく迎えていただきました。入局後は、腎・膀胱・前立腺等の悪性腫瘍疾患、前立腺肥大症・神経因性膀胱等の良性疾患、小児の先天性疾患、女性特有の泌尿器疾患、腎移植に至るまで宮崎大学の泌尿器科ならではの幅広い症例を診療・診察しています。手術に関し

では、入局してすぐに上級医の手厚い指導の下、経尿道的な手術を始め、徐々に開腹や腹腔鏡の症例を担当していきます。日々勉強で、非常に充実した日々です！！手術もあり化学療法もあり移植もあり小児もある「宮崎大学泌尿器科」に多くの方に興味を持っていただき、選択していただけることを医局員一同心待ちにしております。まずは、是非HPをご覧くださいご連絡をください！！お待ちしております！！